

平成30年第1回 定例会 蓮田市教育委員会会議録

招集年月日	平成30年 1月25日	開会場所	蓮田中央小学校 校長室			
開会の日時 及び宣告者	平成30年 1月25日 午前9時30分 教育長 西山通夫					
教育長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招集状況 及び出席状況	席次	氏名	備考	席次	氏名	備考
	1	西山通夫	出席	4	飯野和之	出席
	2	杉崎千津子	出席	5	増田孝	出席
	3	高橋恵美子	出席	書記	辻大介	
議事参与者	<p>学校教育部長 高橋良一</p> <p>生涯学習部長 町田一幸</p> <p>生涯学習部次長兼保育課長 星初江</p> <p>教育総務課長 松永恭武</p> <p>学校教育課長 槍田光東</p> <p>子ども支援課長 新井宏典</p>					
傍聴者	なし					

会議の進行状況・顛末

開 議 平成30年 1月25日 午前9時30分

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長の命により事務局、前回会議録（第12回定例会）を朗読する。

西山教育長の命により高橋委員、増田委員 前回会議録に署名する。

教育長の報告

西山教育長から、以下の報告がなされた。

1. 長欠児童・生徒数について
2. 3月蓮田市議会定例会について
3. 平成30年成人式の状況について
4. 教育課程編成検討委員会の状況について
5. 放射線量の測定値について
6. その他
 - ・学級閉鎖等の状況について

槍田課長から、教育長報告についての補足説明がなされた。

報告事項についての質疑

飯野委員 教育課程編成検討委員会について、課程内容は文部科学省からある程度示されますか。市町村ごとに設定しますか。

西山教育長 教育課程の編成権は校長に委任されており、法令上は校長の判断で決めてよいことになっています。しかし、学校間格差がでると、保護者が迷うこととなります。もし県と国の学力学習状況調査の結果に差異が生じた場合、教育課程の違いが主たる要因でなくてもそれが原因とみなされ、保護者・地域の信頼感が薄くなります。ですので、本市では教育委員会と各校校長で協議し、全校統一して行うことにしています。

増田委員 今後の協議内容として、授業時数増を図る具体策が複数示されていますが、実施しやすさの観点だけで決定されないよう、それぞれのメリット・デメリットを明確に提示し、比較検討されることを望みます。

槍田課長 学校によっては教職員に意見聴取を行っており、ご指摘のあったような観点で意見を出す学校もあるかと思えます。それぞれの具体策について、複合での実施も考慮しながら再度精査し、教育委員会である程度の主導権を持って原案を示し、協議していきたいと思えます。

杉崎委員 中学校の教育課程でも同様に教育課程編成委員会を実施しますか。

西山教育長 中学校では外国語活動の授業時数が増えるということはありませんので、授業時数について実施することはありません。しかし、特別の教科道徳、キャリア教育、プログラミングの授業を行うようになりますので、授業内容の検討委員会を実施することは考えられます。

増田委員 小学校で夏休みの短縮や土曜授業の増加措置を取った場合、中学校との兼ね合

いはどうなりますか。

高橋部長 教育課程編成検討委員会には小・中学校両方から代表者が参加しています。例えば土曜授業を増やす場合、小学校だけ増やして中学校では増やさないというわけにはいかない、と中学校の代表者にも伝え、学校でも情報共有しており、小・中学校一緒に実施するという考えでおります。中学校では授業時数が増えませんが、代わりにこれまで窮屈だった部分を緩和できるように検討を進めております。

増田委員 授業時数が増えるなかで、教職員の負担が増すと思いますが、補助教員のような方を雇用し、負担を軽減するという方策もあるかと思えます。予算との兼ね合いもあるかと思えますが、負担軽減策はあるでしょうか。

西山教育長 国にも外国語活動などの専科指導教員を増やすという方策がありますが、人数的には限界があり、1校に1人というわけにはまいりません。また、市で雇用する場合、ティーム・ティーチング等で授業を行っていただくようになります。このほか、事務職員や部活動指導員の活用が検討されています。

協 議

平成30年度蓮田市教育行政重点施策（案）について、事務局からの説明の後、各部長から教育行政全般について、また、各所属長からそれぞれ所管する諸施策についての説明がなされた。

各施策についての協議がなされた。

西山教育長の閉会宣言で第1回定例会は閉会となった。

閉 議 午前11時30分